

4年生校外学習「北村探検隊」

4年生は、11月10日（火）に総合的な学習の一環として、北港周辺へ校外学習に行ってきました。事前学習として、本やインターネットから母島には沖村と北村が存在していたことを知り、ローズ記念館を見学することで、当時の写真や使われていた甕^{かめ}や食器を実際に見ることができました。当時の様子を思い浮かべながらの探検は、驚きと発見に満ちた学習となりました。

当日は雨の心配もありましたが、どうにか降らず、気温も上がらない過ごしやすい1日となりました。午前中は、東山の方面を登り、住居跡を巡りました。10分程登ると、次第にガジュマルの木が増えていきます。講師の稲垣先生から、このガジュマルは以前住んでいた人が風除けのために植えたものであり、きっと近くに住んでいた跡がある、と聞いて楽しそうに周辺を探していました。注意深く探してみると、昔使われていたお皿や甕、そして流し場や水槽を見付けることができました。落ちていたビンにはカタカナでキリンビールと書かれていましたが、文字の並び方が現在とは反対になっており、子供たちも驚いていました。



（ガジュマルの木が次第に覆い茂る様子）



（北村小学校跡にて）

お弁当を食べ終えて、まずは北村小学校跡に向かいました。写真で見た正門の名残を実際に見ることができました。そして、川沿いにある神社跡の探索に向かいました。神社に向かう道のりはポトスが群生しており、道らしい道も無く、まさに冒険という言葉がふさわしい探索となりました。稲垣先生の注意点をよく聞きながら、危ない箇所や人数を全員で大声で確認し合いながら進んでいきました。道中では、オオウナギや大量のキクラゲとの出会いもあり、大変な道のりにもかかわらず、子供たちは目を輝かせながら歩いていました。無事神社跡も見付けることができ、達成感を味わうことができました。

今回の学習で、自分たちが住んでいる母島の歴史や自然に関して、改めて理解を深めることができました。今まで知らなかった母島の一面を学ぶことで、郷土に対する思いをさらに強めることができるよい機会となりました。